

地域人材ネット

自然エネルギー導入と地域の自治力育成

平野 彰秀 (ひらの あきひで)

NPO法人地域再生機構 副理事長



○ 登録者情報

所在地

岐阜県郡上市

略歴

岐阜市出身。東京大学工学部都市工学科卒、同大学院環境学修士。
北山創造研究所、ブーズ・アレン・ハミルトンを経て、2008年春、岐阜へUターン。
2011年秋、人口約250人の集落・岐阜県郡上市白鳥町石徹白(いとしろ)に移住。
NPO法人地域再生機構副理事長、石徹白地区地域づくり協議会事務局、
全国小水力利用推進協議会理事、一般社団法人小水力開発支援協会理事。
2011年、人間力大賞(公益社団法人 日本青年会議所)受賞。

○ 自然エネルギー導入と地域の自治力育成

取組の内容

過疎化・高齢化の進展する山間地の集落において、自然エネルギー（小水力発電）の導入など、地域づくり活動の支援を通じて、地域の自治力の育成に取り組んでいます。

地域住民の、地域に対する思いや危機意識、潜在的な意欲に耳を傾け、活動を立ち上げていく支援をしています。過去3年間の間に、小規模小水力発電の導入、休眠していた農産物加工所の再生と特産品の開発、女性グループによるカフェの立ち上げ、若手男性陣による地区の公式ホームページの立ち上げ、移住受入れ体制の確立などを支援してきました。現在は、地域住民が出資し、地域住民が運営し、利益が新たな地域づくり活動の原資となるような、小水力発電所建設のための組織づくりを支援しています。

これらの活動の結果、地域の老若男女さまざまな人たちが、さまざまな形で地域づくりの活動に参加するようになり、地域の課題を自分たちで解決していこうという機運が高まってきました。



実績

集落100世帯全戸出資による小水力発電所の建設・運営の実現

移住・定住者の増加：8年間で、14世帯30名が、子育て世代の移住により増加。

移住者が新たな事業を次々に始めている。

地域への経済効果：小水力発電を中心として、約7000万円の新たな産業が生まれた。

工夫した点や苦労した点

地域の人たちの声に耳を傾け、次のステップに進むための後押しをすることを重視しています。また、「みんなで、楽しく、できることから」をモットーにしています。

ひとことPR

集落単位での地域づくりの活動においては、一部の人たちや一部の分野のみが突出するのではなく、地域の多くの人たちが関わりながら、全体として地域の底力があがっていくことが大切であると考えています。そのために、地域の人たちの思いや課題認識に寄り添いながら、活動を展開しています。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

○	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進	○	10	環境保全
○	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

NPO法人地域再生機構	http://chiikisaisei.org/index.html
-------------	---

連絡先

メールアドレス	hirano[アットマーク]chiikisaisei.org	その他	
---------	---	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る